

病歴書(体験ダイビング)

ご参加の皆様へ：この病歴書は、体験ダイビングに参加する前に、医師の診断を受けるべきかどうかを判断するためのものです。以下の各質問に「はい」と答えたからといって、体験ダイビングに参加する資格がまったくないということの意味する訳ではありません。「はい」という回答があった場合、体験ダイビングをする時の安全性を阻む要因を明かにし、医師の助言が必要であることを意味します。あなたの過去と現在の病歴について、以下の質問に「はい」または「いいえ」で答え下さい(「はい」の場合は Yes、「いいえ」の場合は No を○で囲んで下さい)。どう答えてよいのか判断がつかない時は、安全を期して「はい:Yes」とご記入下さい。「はい:Yes」と記入した箇所がある場合は、このプログラムに参加する前に、医師の診断書をご提出いただく必要があります。

- _____ 現在、耳の炎症(中耳炎や外耳炎)がありますか？
_____ 今までに耳の病気をしたことがありますか？また、難聴やめまいの病気になったことがありますか？
_____ 今までに耳、副鼻腔の手術を受けたことがありますか？
_____ 現在、風邪、鼻づまり、副鼻腔炎、気管支炎にかかっていますか？
_____ 今までに呼吸器系の病気、重症の花粉症やアレルギー(眠れない、スギ喘息、ショックなど)、肺の病気にかかったことがありますか？
_____ 今までに気胸になったり、胸部の手術を受けたことがありますか？
_____ 現在、喘息の発作を起こすことがありますか？
_____ また、肺気腫、結核にかかったことがありますか？
_____ 現在、運動能力や精神面に影響する薬(眠気が出る薬、精神科の薬など)を服用していますか？
_____ 行動上の問題(多動症、精神障害など)、精神的または身体的な病気、神経系の病気がありますか？
_____ 現在妊娠をしている、またはその可能性がありますか？
_____ あなたは結腸瘻形成術(人工肛門手術)をうけていますか？
_____ 今までに心臓病や心臓発作を起こしたことがありますか？また、心臓や血管系の手術を受けたことがありますか？
_____ 今までに高血圧症、狭心症になったことがありますか？また、現在血圧の治療薬を服用していますか？
_____ 45 才以上の方にお聞きます。家系に心臓発作や脳卒中の方がいましたか？
_____ 出血が止まらない病気、その他の血液の病気がありますか？
_____ 糖尿病といわれたことがありますか？
_____ 今までに意識消失、失神、けいれん、てんかんなどの発作を起こしたことがありますか？また、これらの予防薬を服用していますか？
_____ 怪我、骨折、手術などによって、腰や四肢に障害がありますか？
_____ 閉所恐怖症、閉所(広場)恐怖症、パニック発作になったことがありますか？

私の病歴について、上記の情報は私の知る限り間違いはありません。私は現在あるいは過去の健康状態を明らかにしなかった場合、記載漏れの事項に関する責任を負うことに同意します。

体験ダイビング参加者声明書

以下の項目をよく読んでください。この声明(病歴書、危険について、体験ダイビング知識と安全の復習を含みます)は、あなたにダイビングに関する潜在的な危険と体験ダイビング中にあなたに提供したいことをお知らせします。

あなたの署名がこのプログラム参加に当たって必要となります。もしあなたが未成年者なら、参加者声明(病歴書、危険について)にあなたと親権者の署名も必要となります。

あなたは、体験ダイビング中に行う呼吸と圧平衡に関する最も重要である安全ルールをダイビングインストラクターから教わります。

スクーバ器材の誤った使用は重度な障害または死にいたることがあります。あなたがそれを正しく使えるように、資格のあるインストラクターの直接的な監督下で使用方法を教わらなければいけません。

体験ダイビングの危険について

よく読んでご記入ください。

私 _____ (参加者)は、圧縮空気を使用する体験ダイビングに付随する危険性について納得の行く説明を受け、理解した上で練習セッションと体験ダイビングに参加することをここに証明します。

このプログラムに参加するにあたり、私に関連する環境および条件などについてプログラムの実施者の指示に従います。また指示に従わず発生する事態あるいは不測の事態から私自身に生じる可能性のある障害その他の損害のすべてについて、私自身が責任を負うとともに、健康管理など細心の注意をはらって参加します。私は、このプログラムが、スクーバ・ダイビングへの体験的なプログラムとして設定されていることを理解しています。

さらに進んでダイバーとして認定を受けるためには、認定コースに参加し、資格のあるインストラクターから直接全ての指導を受けなければならないことを理解しています。

私はプログラムを提供する _____ デイリウム _____ 及びダイビング指導団体に対して、私が同インストラクターの指示に従わなかったこと、又は私の重大な過失によって私が被った損害については、同インストラクターに過失が存した場合においても、その賠償責任を問わないことを約束します。

私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、体験ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には私自身を危険な状況においてしまう可能性があることを認識しています。

ダイビング後の飛行機搭乗に関する推奨事項

1. ダイビング後に飛行機に乗る場合は、水面休憩時間として少なくとも 12 時間待たなければなりません。
2. 反復ダイビング(2 ダイブ以上)や複数日にわたるダイビングの後に、飛行機に乗る前に、水面休憩として少なくとも 18 時間待たなければなりません。
3. 減圧停止をした場合は、飛行機に乗るまでは、水面休憩として最低でも 18 時間をこえる時間待たなければなりません。

私は、署名する前に上記の書類(病歴書、体験ダイビング参加者声明書、体験ダイビングの危険について、ダイビング後の飛行機搭乗に関する推奨事項)の内容をよく読み、理解しました。

参加者署名

日付

未成年者の場合は保護者の署名(親権者または後景人)

日付